

大腸癌研究会プロジェクト研究

『直腸癌における肛門側切離端までの距離と

外科剥離面までの距離に関する多施設前向き観察研究』

第 14 回委員会 議事録

研究代表者：伊藤雅昭

期日：2025 年 7 月 3 日（木）10:30～11:00

場所：ザ・グランユアーズフクイ（ホテルフジタ福井）第 1 会場 天山 3

※ハイブリット方式

出席者：濱田円、近藤喜太、高津史明、吉満政義、中野麻恵、問山裕二、志村匡信、上田和毅、川内隆幸、岡本耕一、安達智洋、岩佐陽介、谷口文崇、池田正孝、小杉千弘、澤田紘幸、坂本一博、島田能史、沖英次、大平学、金光幸秀、三浦卓也、三宅亨、大熊誠尚、黒川弘晶、山本大輔、黒木嘉典、那須克宏、池田公治、伊藤雅昭 【順不同】 【敬称略】

議題 1. 症例登録数の最終結果について（国立がん研究センター東病院 池田公治）

2025 年 3 月 31 日で症例登録を終了し、最終的に予定登録数の 1000 例を超える 1001 例を登録できたことを報告した。

議題 2. first endpoint, secondary endpoint や他のサブ解析について（国立がん研究センター東病院 池田公治）

現状、プロトコールで想定されている first endpoint, secondary endpoint について解説し、研究を進めるにつれて可能と考えられたサブ解析について説明した。

議題 3. 追加データ収集で可能となるサブ解析について（国立がん研究センター東病院 池田公治）

EMVI など局所再発以外の遠隔再発のリスクとなる項目も収集していることから、予後調査を 3 年から 5 年に延長することについて事務局から提案、賛成多数で予後調査を延長することが決まった。また、病理診断の中央判定を行うかについての議論も行われたが、次回以降の事前調査の結果をみて、最終的に行うかどうかを判断することになった。

【質疑応答・意見】

・特記事項無し

文責：池田公治